

WOWOW LETTER

第30期 決算報告

2013年4月1日～2014年3月31日

証券コード 4839

見るほどに、新しい出会い。

W O W O W

WOWOWプライムに最高峰のコンテンツを集結!

BS 9 **WOWOW** プライム **出会いにあふれた毎日を。**

「スター・トレック イントゥ・ダークネス」
© 2014 Paramount Pictures. All Rights Reserved.
STAR TREK and related marks and logos are trademarks of CBS Studios inc.




「連続ドラマW MOZU Season2 ～幻の翼～」
6月22日(日)スタート(全5話)
【第1話無料放送】

真夏のSF100時間!
【「スター・トレック」シリーズ全12作品
吹替版一挙放送】 7月6日(日)ほか




ウィンブルドンテニス **WOWOW** プライム **WOWOW** ライブ
6月23日(月)～7月6日(日)
連日生中継 ※29日(日)除く【初日無料放送】

氷室京介
25th Anniversary Special Part 1
6月29日(日)

WOWOW ライブ **忘れられない瞬間を。**



(写真左より)インビー・パーク Getty Images、アンドレス・イニエスタ 写真: AP/アフロ、クリスティアーノ・ロナウド 写真: アフロ、ジョルジュ・サン・ビエール © Photo Courtesy of UFC、アンディ・マレー 写真: AP/アフロ

海外スポーツドキュメンタリー特集
7月7日(月)ほか ナビゲーター:阿部寛

WOWOW シネマ **映画のある人生を。**



© 2013「そして父になる」製作委員会

「そして父になる」
8月2日(土)

WOWOW メンbersオンデマンド **いつでも、どこでも。**

ライブ配信

注目のスポーツイベント等を生中継で配信します。



**生中継! 女子ゴルフ国別対抗戦
インターナショナル・クラウン**
7月24日(木)～28日(月)

ライブラリー

WOWOWがこれまで放送した人気番組が
続々と再集合!



「連続ドラマW パンとスープとネコ日和」

見逃し視聴

オリジナルドラマや海外ドラマなどを
放送後から一定期間配信します。



「連続ドラマW 東野圭吾『変身』(全5話)」

WOWOWメンバーズオンデマンドは
加入者限定の無料番組配信サービスです。
パソコン、スマートフォン、タブレットで楽
しめます。
※ご加入者1名につき最大3台まで登録可能です。
また、WOWOWにご加入していない方でも、オリ
ジナル番組やドラマ、スポーツなど、一部の無料
コンテンツをお楽しみいただけます。

無料コンテンツを視聴する場合は**WOWOW
オンラインIDの登録が必要**です。
詳細は下記のページをご参照ください。

<http://www.wowow.co.jp/mod/muryo/>

サービス対象端末とアプリについて
WOWOWメンバーズオンデマンドはPCのほか下記の端末でご視聴いただけます。

- **アップル iPhone/iPad/iPad mini/iPod touch**
WOWOWメンバーズオンデマンド
専用アプリ for iOS
Apple App Storeからダウンロード
- **Android™ スマートフォン/タブレット**
WOWOWメンバーズオンデマンド
専用アプリ for Android™
Google Playからダウンロード
※一部対象外機種もございます。
- **Amazon Kindle Fire/Kindle Fire HD/HDX/HDX8.9**
WOWOWメンバーズオンデマンド 専用アプリ for Android™
Amazonアプリストアからダウンロード

WOWOWメンバーズオンデマンドお問い合わせ専用ダイヤル(受付時間 9:00～20:00 年中無休) **0120-808-997**

Webからは **WOWOW オンデマンド** で検索 www.wowow.co.jp/mod/

※Android、Google Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。

※オンデマンドサービスは有料放送契約を締結し、月額視聴料をお支払いいただいている方がご利用できます。
※番組の視聴には月額視聴料以外の費用はかかりませんが、サービスの利用に際し配信端末のインターネット通信料その他の通信料金等は、お客様のご負担になります。
※各種端末において、動作確認が完了していないOSバージョンでは、本サービスをご利用いただけない場合がございます。

No.1 プレミアム・ペイチャンネルから、
「総合エンターテインメント・メディア企業」へ



代表取締役社長 **和崎 信哉** ■プロフィール

1944(昭和19)年生。京都大学教育学部卒業。1968年NHK入局。ディレクターとして「NHK特集シルクロード」などを担当。総合企画室[デジタル放送推進]局長、理事などを歴任。2005年、(社)地上デジタル放送推進協会専務理事を経て、2006年WOWOW会長。2007年6月社長に就任。社外役員として2010年6月より一般社団法人衛星放送協会会長。

「4K番組制作」、「国際共同制作」に挑戦した2013年度

2013年度は、新たな試みに挑戦した年度と言えます。「ドラマW チキンレース」や「Railway Storyスペシャル 東北復興の鉄道を行く」では、フルハイビジョンの4倍の解像度を有する新しい映像品質「4K」での制作に挑戦しました。

一方で、アメリカやフランスなどの世界各国のテレビ局や制作会社との番組共同制作にも取り組みました。現在はドキュメンタリー 4作品が制作進行中です。さらに、WOWOW FILMS最新作である映画『2つ目の窓』でも、日本・フランス・スペインの出資による国際共同製作が実現。海外とのコンテンツ制作は、今後の当社の制作力や、チャンネルの魅力向上などにつながると考えています。

正味加入件数は8期連続で純増

2013年度は、8期連続で正味加入件数が純増し、有料放送収入が過去最高となりました。その要因としては、サザンオールスターズや矢沢永吉のライブ、テニスのグランドスラム4大会等が新規加入獲得に貢献したことや、WOWOWが得意とする社会派ドラマとは異なるジャンルに挑戦した「連続ドラマW パンとスープとネコ日和」で新たな顧客層にアプローチできたことが挙げられます。加えてWOWOWメンバーズオンデマンドでは、リーガ・エスパニョーラ全380試合を配信するなど、質・量ともに充実させました。それにより、WOWOWへの総接触時間が増え、解約低減に繋がりました。

しかしながら、番組の魅力在未加入者へ十分に伝えきれなかった上期の苦戦などにより、正味加入件数は当初想定していた数値を下回るという、厳しい結果となりました。

自己株式の取得を実施

また、昨年12月には、機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を行いました。取得した株式は、当面、金庫株として保有していきませんが、市場評価・成長のための戦略的投資の機会等を踏まえたうえで、対応方針を判断していきます(当社普通株式926,400株を取得)。

連結収支 前期・計画対比

(単位:百万円)

	2012年度 実績	2013年度 実績	2013年度 計画	前期比	計画比
売上高	70,542	70,274	71,500	99.6%	98.3%
経常利益	6,822	7,545	7,500	110.6%	100.6%

「VISION2020」及び、 中期経営計画(2014年度-2016年度)を策定

2010年に発表した中期経営計画は、フルハイビジョン・3チャンネル体制への移行により、2014年度末で累計正味加入件数285万件、連結売上高780億円、連結経常利益率10%以上を目指すものでした。2009年度末に比べ、2013年度末時点では、累計正味加入件数増加、増収増益、連結経常利益率10%以上と一定の成果を挙げたものの、累計正味加入件数、連結売上高は目標数値を下回る結果となりました。

この要因として、スマートフォンなどのパーソナルデバイスの普及による視聴スタイルの変化やYouTubeやニコニコ動画のようなOTT(※)の市場参入など、計画を策定した時期に比べ、放送・通信をとりまく環境が想像以上のスピードで変化していることが挙げられます。一方、2020年までには、4K/8KやスマートTVといった次世代放送サービスが本格化し、メディア環境が今とは全く違ったものになっていると想定しています。

こうした中長期的な変化を確実にとらえ、WOWOWが価値のある存在感を持ったメディア企業であり続けるために、当社は既存の中期経営計画を見直すことが急務となりました。そこで、2020年に向け、当社が目指すべき未来の姿である「VISION2020」及び、その足許を固める3カ年の計画である、中期経営計画(2014年度-2016年度)を策定しました(詳細7ページ)。

2016年に向けた3カ年計画では、3つの成長領域に取り組んでいきます。まず、「集中的成長」ではNo.1プレミアム・ペイチャンネルの基礎力を強化し、収益基盤をより強固なものにしていきます。「統合的成長」では、当社の既存顧客はもちろん、未加入者で普段テレビを見ない層に向けても、スマートデバイス向けのサービス開発を行い、「TV&Web時代」に対応します。そして、「多角的成長」では、放送局の枠を越え、有料放送ビジネスの周辺領域で収益源を多様化していきます。これらを通じて、2020年



に向けて、「総合エンターテインメント・メディア企業」への成長を目指していきます。

※インターネット上で映像・音楽コンテンツやサービスを提供する事業者(Over The Topの略)

2014年度は新しい「会員メディア」に向けて 基礎を築く重要な年度

2014年4月、「WOWOWプライム」に訴求力のあるコンテンツを集約するという、3チャンネル化以降初めてとなるチャンネルの構造改革を行いました。これは、いかに当社の番組に興味を持ち、知っていただくかという「気づき」を喚起していく狙いがあります。

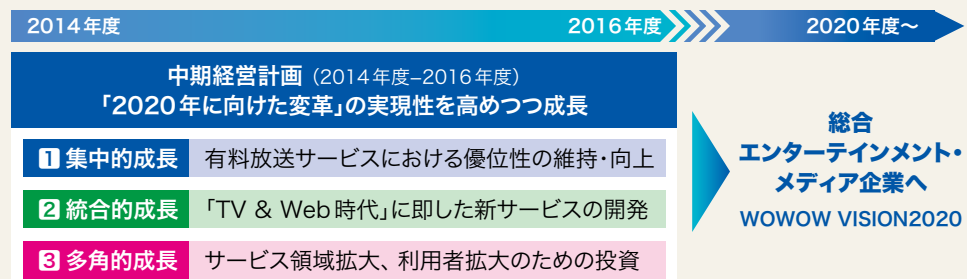
例えば、新聞などのラジオ・テレビ欄に掲載されているのは、「プライム」の番組表であるため、「ライブ」、「シネマ」の番組は見過ごされてしまうことがあります。そこで、「プライム」に訴求力のあるコンテンツを持ってこることで、ショーウィンドウとしての機能を強化し、「プライム」から専門性の高い「ライブ」、「シネマ」へ誘導していく。その動線づくりのために番組編成を大きく変えました。

さらに、ドラマ・スポーツ・音楽・映画を中心に「線(シリーズ化)」と「塊(特集化)」を強化するとともに、新しい訴求ジャンルやコンテンツを開発していきます。例えば、TBSがSeason1、WOWOWがSeason2を放送するドラマ「MOZU」(詳細9ページ)や、氷室京介のソロデビュー25周年ツアーを第1弾、第2弾と放送していくような連続性のある展開のほか、映画「スター・トレック」シリーズ全12作品吹替版を3週連続で一挙に放送するなど、特集を強化していきます。

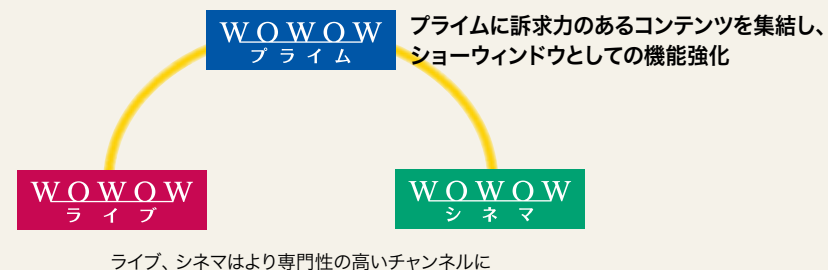
また、そのほかの施策としては、プロモーション・広告手法等の精度を高めることで、ターゲットごとのニーズに対応した番組情報等を効率的に届け、新規加入獲得につなげていくほか、昨年度より導入した「WOWOWポイント」を使って、会員とのつながりを一層強めていきます。

No.1プレミアム・ペイチャンネルから「総合エンターテインメント・メディア企業」へと飛躍していくWOWOWにどうぞご期待ください。

中期経営計画 —2020年に向けたロードマップ—



チャンネルの構造改革



VISION2020

当社は、中長期的な事業環境の変化を確実に捉え、価値のある存在感を持った企業であり続けるため、当社が目指す未来の姿である「VISION2020」を策定しました。

「VISION2020」は、「今まで以上に、独創的かつ先駆的な挑戦をつづけ、エンターテインメントの本質を追求すること」(エンターテインメント)、さらに「単なる送り手と受け手という関係から、会員同士がエンターテインメントについての造詣を深め、会員とWOWOW、そして会員同士の強い結びつきを創造すること」(エンゲージメント)を目指すものです。

この「VISION2020」の足元を固める3カ年の計画として、2014年5月に当社は中期経営計画(2014年度-2016年度)を策定しました。



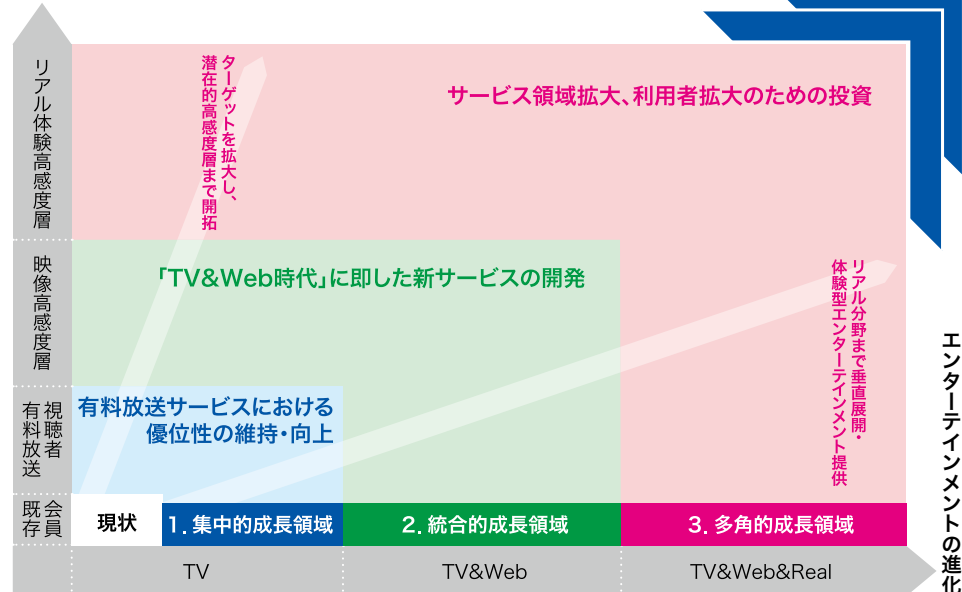
中期経営計画(2014年度-2016年度)の方針・施策

中期経営計画(2014年度-2016年度)では、下記3つの成長戦略に取り組んでいくことで、プレミアム・ペイチャンネルから「総合エンターテインメント・メディア企業」への成長を目指します。

- 1 集中的成長 (有料放送サービスにおける優位性の維持・向上)
- 2 統合的成長 (「TV&Web時代」に即した新サービスの開発)
- 3 多角的成長 (サービス領域拡大、利用者拡大のための投資)

【成長領域の関係性図】

エンゲージメントの深化



1 集中的成長 —有料放送サービスにおける優位性の維持・向上—

「No.1 プレミアム・ペイチャンネル」の基礎力強化。収益基盤をより強固に

●方針と施策

- 番組・編成の充実 — 市場分析の手法刷新 ▶ 新番組ジャンルの開発、オリジナルコンテンツ強化継続
▶ 生活者インサイトの分析を基に、加入獲得・解約低減の施策展開
- 「会員向けサービス」の開発・充実 ▶ お客さまを「会員」として位置づけ、既存サービスの拡充・新規サービスの開発により、結びつきを強化
- 国際共同制作の継続・強化 ▶ 海外プレイヤーとの番組共同制作の継続、収益を拡大

2 統合的成長 —「TV&Web時代」に即した新サービスの開発—

既存リソースを活用し、「TV & Web」具現化に取り組む

●方針と施策

- スマートデバイス向けサービスの開発 ▶ Webを活用した新たな視聴体験の提供
▶ 新規映像配信サービスによる新たなユーザー層の開拓
- 放送サービスの高度化への技術・コンテンツ対応 ▶ マーケットのニーズに合わせてタイムリーにサービスを投入できる技術の蓄積

3 多角的成長 —サービス領域拡大、利用者拡大のための投資—

放送局の枠を越え、既存ビジネス周辺領域で収益源を多様化

●方針と施策

- 体験型エンターテインメントの提供 ▶ 「TV & Web & Real」エンターテインメント実現のための準備
- 現有リソースの事業化 ▶ 当社が有料放送事業者として有する機能の外販、新たな収益源としての育成
- 外部リソースの取り込み ▶ 周辺領域における、新規ビジネスへの投資機会の発見

数値目標

【2013年度実績】(連結)

累計正味加入件数……………265万件
売上高……………702億円
経常利益……………75億円
経常利益率……………10.7%

【2016年度目標】(連結)

累計正味加入件数……………276万件
売上高……………750億円
経常利益……………90億円
経常利益率……………12.0%

中期経営計画の詳細は、WOWOW IR情報サイトをご確認ください。

▶ TOP > IR情報 > 経営方針 > 中期経営計画

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/management/plan.html

1

WOWOW×TBS共同制作ドラマ 「MOZU」

当社とTBSによる本格コラボレーション作品として話題を呼んだ「ダブルフェイス」(2012年)に続く、局の垣根を越えて制作したドラマ「MOZU」が2014年4月からTBS系列で放送開始されました。「ドラマW」「連続ドラマW」で社会派・サスペンスドラマなどに取り組んできた当社と、数々のヒット作品を生み出したTBSが力を合わせた初の連続ドラマとなります。

原作は、巧みな叙述トリックと激しいアクション、生々しい警察内部の描写などから、これまで映像化が不可能とされてきた逢坂剛さん原作の“百舌シリーズ”。「ダブルフェイス」の制作チームが再結集し、映像化した作品です。全15話を前・後編に分け、TBS系列で「Season1～百舌の叫ぶ夜～」を、WOWOWで「Season2～幻の翼～」を6月22日から放送します。



WOWOW プライム 「連続ドラマW MOZU Season2 ～幻の翼～」

Interview

WOWOW ドラマ制作部 井上 衛
(「MOZU」プロデューサー)

TBS、制作協力のROBOTと力を合わせ1つの作品が完成しました。地上波、WOWOW、どちらの枠にもとられない発想がこの企画を支えています。「ダブルフェイス」からあらゆる面でグレードアップした、“すべてのシーンがクライマックス”ともいえるべき作品に仕上がりました。

2

「ノンフィクションW 映画で国境を越える日～映像作家・ヤン ヨンヒという生き方～」が日本放送文化大賞グランプリ[テレビ]を受賞

昨年1月に放送した「ノンフィクションW 映画で国境を越える日～映像作家・ヤン ヨンヒという生き方～」が、第9回日本放送文化大賞グランプリを受賞しました。当社として、同賞は初受賞となります。この番組は、第85回アカデミー賞外国語映画賞の日本代表作品に選ばれた映画『かぞくのくに』の脚本・監督を務めたヤン ヨンヒに密着したドキュメンタリー。

日本放送文化大賞は、2005年に一般社団法人日本民間放送連盟が、会員各社で質の高い番組の制作・放送を促すことを目的に制定した賞で、視聴者・聴取者の期待に応えるとともに、放送文化の向上に寄与したと評価された番組に与えられるものです。

グランプリを受賞したことで、同番組は2013年12月から2014年3月まで全国の地上波テレビ30局で放送されました。



WOWOW プライム 「ノンフィクションW 映画で国境を越える日～映像作家・ヤン ヨンヒという生き方～」
●第9回日本放送文化大賞 グランプリ[テレビ]
●第30回ATP賞テレビグランプリ2013
ドキュメンタリー部門 奨励賞

■2013年度の主な受賞作

- 「ダブルフェイス 潜入捜査編」
「ダブルフェイス 偽装警察編」
東京ドラマアワード2013 作品賞(単発ドラマ部門) グランプリ ※偽装警察編のみ、2013年(平成25年)日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビドラマ番組【優秀】
- 「ドラマW チキンレース」
平成25年度(第68回)文化庁芸術祭 テレビ・ドラマ部門 優秀賞、キャラクター賞 2013年11月度月間賞
- 「連続ドラマW レディ・ジョーカー」
第30回ATP賞テレビグランプリ2013 ドラマ部門 優秀賞
- 「連続ドラマW 天の方舟」
第41回国際エミー賞 テレビムービー/ミニシリーズ部門 ノミネート
- 「連続ドラマW ヒトリシズカ」
第39回放送文化基金賞 テレビドラマ番組賞(番組部門-テレビドラマ番組→)

3

WOWOW FILMS『2つ目の窓』 劇場公開に先駆けプレミア放送

第67回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に正式出品されたWOWOW FILMS『2つ目の窓』。その正式出品を受けて6月1日に、劇場公開に先駆け「WOWOWシネマ」で一夜限りのプレミア放送を行いました。先行放送したことは、作品の認知度や関心が高まり、映画興行に追い風になると考えています。今回、関係各所の了承を得て、実現しました。当社作品で劇場公開前に放送する試みは、WOWOW FILMS第1弾『犯人に告ぐ』に続く事例となります。

本作は、1997年『萌の朱雀』でカメラドール(新人監督賞)を、2007年『殞の森』でグランプリ(審査員特別大賞)を、ともにカンヌ国際映画祭で受賞した河瀬直美監督の最新作で、日本、フランス、スペインの出資による国際共同製作作品。なお、本作は7月26日より劇場公開されます。



WOWOW シネマ WOWOW FILMS『2つ目の窓』
© 2014 "FUTATSUME NO MADOU" JFP, CDC, ARTE FC, LM.

4

「エンターテインメントにできること。」 そのメッセージを被災地へ、日本全国へ

報道を持たないエンターテインメントテレビ局の社会的使命を果たすため、当社は東日本大震災の発生以来、「エンターテインメントにできること。」というメッセージを掲げ、様々な取り組みを進めています。

これまで、「シンディ・ローパー」(2012年)、「ジャーニー」(2013年)のライブビューイングを行うなどの被災地支援イベントを開催しましたが、今年はライブビューイングに加え、4K試写会の実施や各チャンネルで異なるジャンルの番組を放送しました。

WOWOWプライムでは、「Railway Story スペシャル 東北復興の鉄路を行く」のほか、「ノンフィクションW」2作品を放送しました。また、「Railway Story スペシャル」では、3月7日に岩手・三陸鉄道の車両を借り切り、4K特別試写も開催しました。

WOWOWライブでは、美しい歌声で世界を魅了するイル・ディーヴォの日本公演を、被災地を含む、全国18館の劇場に同時生中継。

WOWOWシネマでは、WOWOW FILMS『家路』の公開に合わせて、福島を巡りながら、そこに暮らす人々の思いを伝える番組を放送しました。



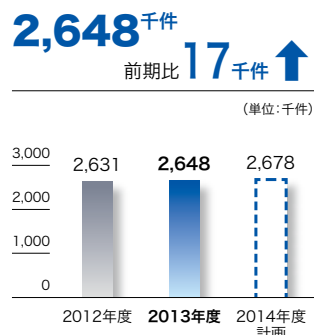
WOWOW プライム 「Railway Story スペシャル 東北復興の鉄路を行く」



WOWOW ライブ 「生中継! イル・ディーヴォ ライブ・イン・ジャパン2014」

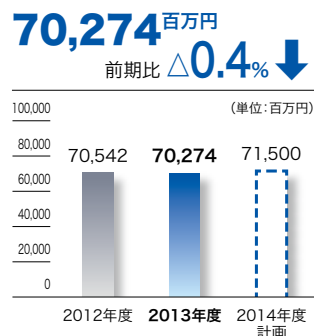
累計正味加入件数の推移 (各期末時点)

累計正味加入件数は2,648,444件、正味加入件数は前期比17,026件と8期連続の純増を達成しました。オリジナルドラマの新ジャンルへの挑戦や「WOWOWメンバーズオンデマンド」との連動を図るなど「WOWOWプライム」、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」の各チャンネルの編成を強化しました。また、当社が放送権を有しているものの放送時間の都合上紹介できないコンテンツを「WOWOWメンバーズオンデマンド」で生配信するなどお客さまのご要望に応えるとともに、デジタルコミュニケーションを強化しました。



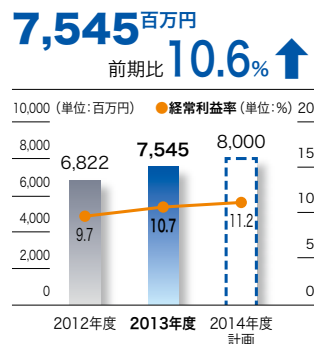
売上高(連結)

当連結会計年度における有料放送収入は過去最高額を更新しましたが、連結子会社の外部売上高減少等により、その他の収入が前期比で減少したことから、売上高は702億74百万円と前期に比べ2億67百万円の減収となりました。



経常利益(連結)

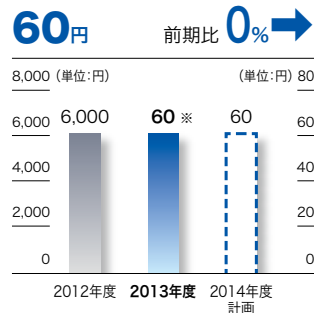
前期に比べ大型番組への費用投下等が少なかったため、経常利益は75億45百万円と前期に比べ7億23百万円の増益となりました。



1株当たり年間配当金(年間)

当事業年度は、前年度と同額、1株当たり60円の期末配当を行います。また、次期の期末配当は、1株当たり60円を予定しております。

※2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2012年度については、株式分割前の数値を記載しております。



貸借対照表の概要(連結)

資産 ①

当連結会計年度の総資産は527億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億29百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が減少したことによるものです。

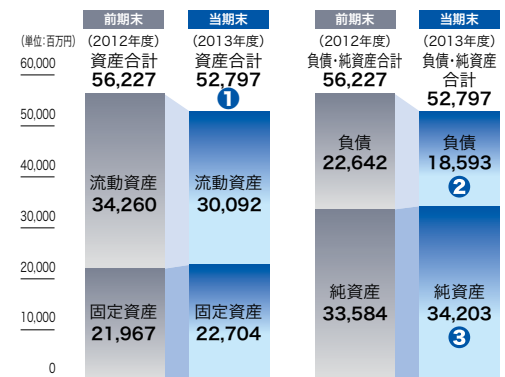
負債 ②

負債合計は185億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億48百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金、1年内返済予定の長期借入金、及び預り金が減少したことによるものです。

純資産 ③

純資産合計は342億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億18百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加及び自己株式の取得によるものです。

自己株式につきましては、2013年12月24日、当社普通株式926,400株(発行済株式総数に対する割合6.42%)を取得したものです。



2014年度業績見通し

加入計画

機動的に番組編成を行うこと及び効果・効率的なマーケティング活動を行うことにより、新規顧客の獲得・解約の低減を目指します。

	2013年度実績	2014年度計画	前期比較	
			前期差	前期比
新規加入	504	490	△14	97.3%
解約	487	460	△27	94.5%
正味加入	17	30	13	176.2%
累計正味加入	2,648	2,678	30	101.1%

収支計画(連結)

2014年度は売上高715億円、経常利益80億円と増収増益を計画しています。(単位:百万円)

(連結)	2013年度実績	2014年度計画	前期比較	
			前期差	前期比
売上高	70,274	71,500	1,225	101.7%
営業利益	7,186	7,900	713	109.9%
経常利益	7,545	8,000	454	106.0%
当期純利益	4,766	5,100	333	107.0%

※それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

会社概要

社名……………株式会社WOWOW
 ホームページアドレス http://www.wowow.co.jp/
 主な事業内容…… 放送法に基づく基幹放送事業および一般放送事業
 放送チャンネル デジタル放送 テレビ BSデジタル191、192、193ch
 データ放送 BSデジタル791、792ch

設立…………… 1984年12月25日
 営業放送開始…… デジタル放送 2000年12月1日
 資本金…………… 50億円
 従業員…………… 連結391名 単体278名

取締役及び監査役

(2014年6月19日現在)

代表取締役社長 和崎 信哉
 常務取締役 橋本 元 経営戦略担当 兼 経営戦略局長
 佐藤 和仁 IR経理担当

取締役 山崎 一郎 人事総務、リスク管理・コンプライアンス担当
 坂田 進恒 技術担当
 牧野 力 編成、制作、事業担当 兼 編成局長
 大高 信之 マーケティング、営業、デジタルコンテンツ担当

取締役(非常勤) 飯島 一暢 株式会社サンケイビル 代表取締役社長 社長執行役員
 丸山 公夫 日本テレビホールディングス株式会社 常務取締役
 山本 敏博 株式会社電通 執行役員
 藤田 徹也 株式会社東京放送ホールディングス 常務取締役
 菅野 寛 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授

監査役 山内 文博
 監査役(非常勤) 草間 高志 みずほ証券株式会社 常任顧問
 池内 文雄 株式会社朝日新聞社 顧問
 橘 高明

所在地

本社…………… 〒107-6121
 東京都港区赤坂5-2-20
 赤坂パークビル21F
 TEL.03-4330-8111(代)

放送センター…………… 〒135-8080
 東京都江東区辰巳2-1-58

横浜カスタマーセンター …… 〒220-8080
 横浜市西区みなとみらい3-3-1
 ☎ 0120-580-807

沖縄カスタマーセンター …… 那覇市壺川
 札幌カスタマーセンター …… 札幌市中央区

関係会社

株式会社WOWOWコミュニケーションズ
 テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営、会員サービス事業、カスタマーセンター構築ソリューションをはじめとする顧客管理業務全般

WHDエンタテインメント株式会社
 コンテンツ制作・調達業務、音楽著作権の管理及び許諾業務

株式会社放送衛星システム
 放送衛星の調達・運用業務

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
 デジタル放送の限定受信システム(CAS)のICカード発行・管理業務

発行済株式の総数…………… 14,422,200株
 株主数…………… 7,857名

大株主一覧

株主名	持株数(株)
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	2,315,200
株式会社東京放送ホールディングス	2,097,700
日本テレビ放送網株式会社	1,308,200
自社(自己株口)	926,400
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社電通口)	700,400
新井隆二	647,300
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	290,100
株式会社朝日新聞社	277,600
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	175,000
株式会社テレビ朝日	173,000
株式会社テレビ東京	173,000
株式会社日本経済新聞社	173,000
株式会社毎日新聞社	173,000
株式会社読売新聞東京本社	173,000

(注)前事業年度末において主要株主でなかった株式会社フジ・メディア・ホールディングス及び株式会社東京放送ホールディングスは、当事業年度末現在では主要株主となっております。

所有者別一覧

所有株主数/合計7,857名

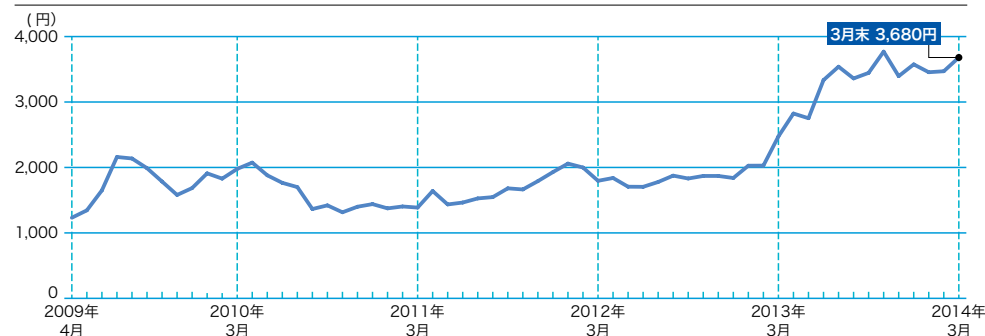


所有株式数/合計14,422,200株



注) 1.自己株926,400株は、「個人・その他」に9,264単元を含めて記載しております。
 2.「その他の法人」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。
 3.平成25年4月26日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日をもって単元株制度を導入し、1単元の株式数を100株としております。

株価の推移 (2009年4月1日～2014年3月31日)



※平成25年10月1日に株式分割(普通株式1株につき100株の割合をもって分割)を実施。上記株価推移は、当該株式分割を考慮した場合の金額推移です。

WOWOW Webサイトのご紹介

● WOWOW オンライン TOPページ

<http://www.wowow.co.jp/>



加入者限定
オンラインID
オープン

WOWOWオンラインでは加入者限定のサービスの他、未加入者でも楽しめるサービスをご紹介します。

加入者限定

加入者限定の楽しい特典が盛りだくさん!



プラスW

● プレゼント・イベント(プラスW)

番組関連グッズや映画・ステージのチケット、豪華家電などのプレゼント、各種イベントへのご招待など、様々なプレゼント企画をご用意しています。

その中には、「WOWOW 加入者代表」として、音楽ライブや映画のジャパンプレミアなど国内外のプレミアムイベントに参加し、レポートしていただく企画もあります。

詳しくはこちら ▶ wowow.bs/plusw



● WOWOW メンbers オンデマンド

“いつでも・どこでも”楽しめる加入者限定の無料番組配信サービスです。パソコン・タブレット・スマートフォンで3,000本以上の番組が見られます。

WOWOWにご加入していない方でもオリジナル番組やドラマ、スポーツなど一部の無料コンテンツをお楽しみいただけます。

加入者はもちろん、未加入者にも触れていただける【無料】のサービスが満載!

オンラインID

WOWOWオンラインIDを取得するとご利用できるサービスです。



● WOWOW ポイント

WOWOWの様々なサービスをご利用いただくことで取得できるポイントで、豪華イベントや賞品への応募にご利用いただくことができます。

詳しくはこちら ▶ <http://point.wowow.co.jp/>

その他にもW流などのサービスをご利用できます。

詳しくはこちら ▶ オンラインサービス <http://www.wowow.co.jp/service/online/>

オープン

どなたでも登録無しでご利用可能なサービスです。



● スマホアプリ 番組をより深く楽しめるアプリや、日常生活でも役立つアプリをご提供しています。

町山智浩の映画塾!

映画評論家の町山智浩が解説する映画の楽しみ方や裏話を音声、動画で視聴できるアプリです。

詳しくはこちら

▶ <http://www.wowow.co.jp/service/app/>

その他にもWOWOW動画などのサービスをご利用できます。

WOWOW FREE <http://www.wowow.co.jp/muryo/>

「WOWOW FREE」には、WOWOW 動画、W流のほか、無料番組のご案内など、未加入の方でも気軽に触れられる無料のコンテンツが満載です。ぜひご覧ください。



● 無料動画サービス



● WOWOW 動画

インタビュー映像や番組プロモーション映像など無料で配信。いつでも好きな時に好きな動画をお楽しみいただけます。

詳しくはこちら ▶ <http://www.wowow.co.jp/douga/>

オープン



● W流 by WOWOW

W流(ダブルユウ) by WOWOWは映画、音楽、スポーツ、ドラマ、アニメ等のエンタメコンテンツを無料で体験し、新しい出会いと発見ができるサイトです。

詳しくはこちら ▶ <http://st.wowow.co.jp/>

オンラインID

● 無料番組のご案内

BS放送をご覧になれる方ならどなたでも無料番組を視聴できます。

例えば、海外ドラマやオリジナルドラマの初回放送などがお楽しみいただけます。BS-9chにチャンネルを合わせてご覧ください。

「ザ・フォロイング2」

7月8日(火)スタート(全15話)【第1話無料放送】



W.O.W.O.W フライム © Warner Bros. Entertainment Inc.

出会いにあふれた毎日を。



忘れられない瞬間を。



映画のある人生を。



いつでも、どこでも。

